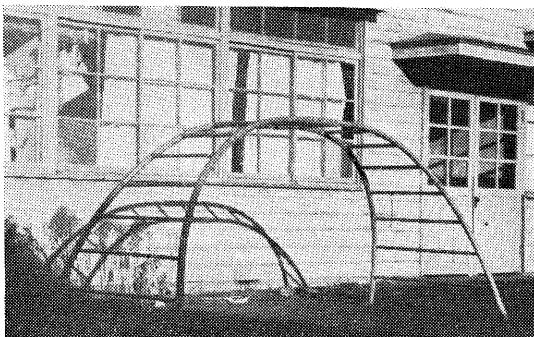


# 固定運動遊具のいろいろと その特徴および 教育的意義 ④

## 七、太鼓橋（第四一図～四四図）

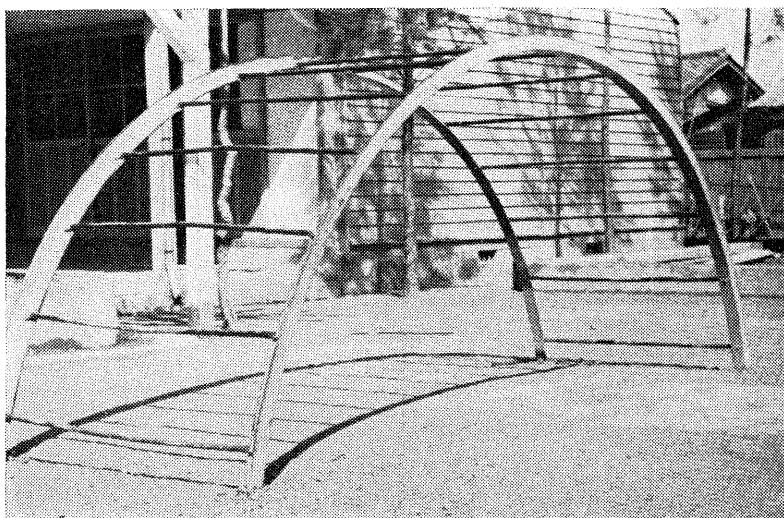
この遊具では、上を渡つたり、あるいは下で懸垂したり、膝を折つて逆にぶら下がつたりするので、手足の協応動作、平衡感覚、あるいは腕の懸垂力、腹筋力などを発達させるという身体的価値とともに、仲間同志が、ゆずり合つて渡るとか、上にあがつて優越感を味わうなど、社会的、情緒的価値をももつてゐる。

第41図 太鼓橋 バイプを曲げたもの



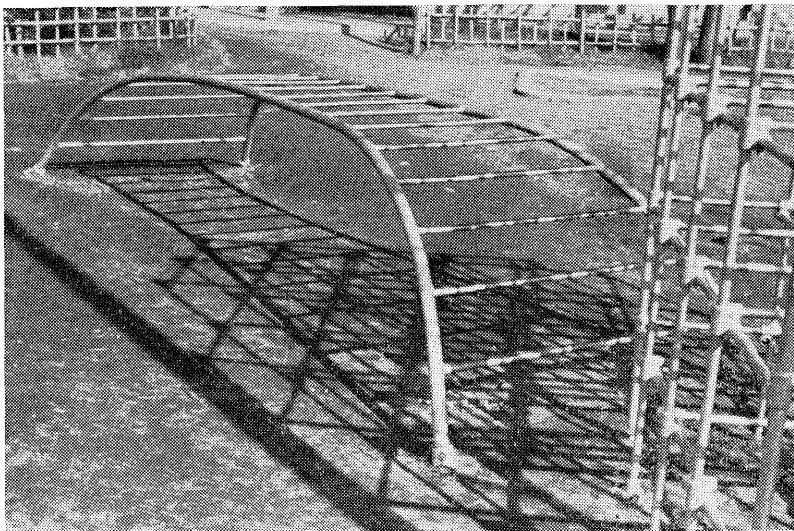
武藏野市 東京女子体育短期大学付属井ノ頭幼稚園

第42図 太鼓橋 アンダルを曲げたもの



徳島市 助任幼稚園

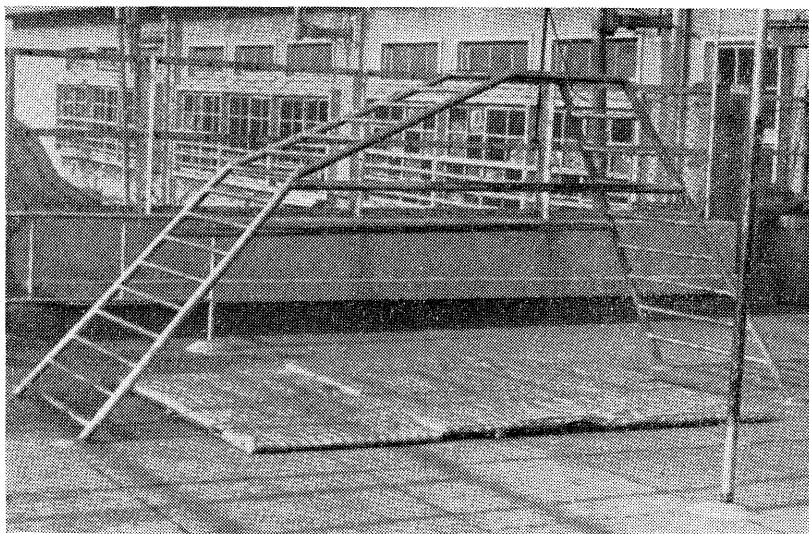
第43図 太鼓橋 バイプ式の変形 高さ約80cm



日本女子大学付属豊明幼稚園

下は、文京第一幼稚園長山村氏の発案したものである。太鼓型とはいひ難いようであるが、雲梯をなぞらえた太鼓橋とでもいっておこう。下側の補強のためのステーが、鉄棒代理として、むしろよく使われているとは氏の談。棒と棒との間隔が狭いので、年少児でも容易に登れるようになっている。

第44図 太鼓橋

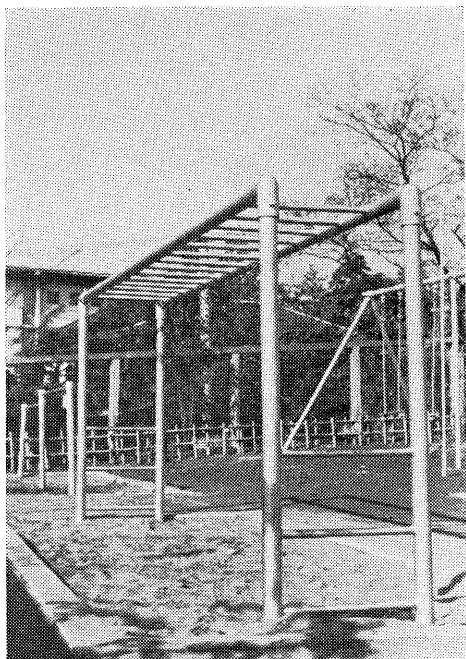


文京区 文京第一幼稚園

## 八、雲 梯

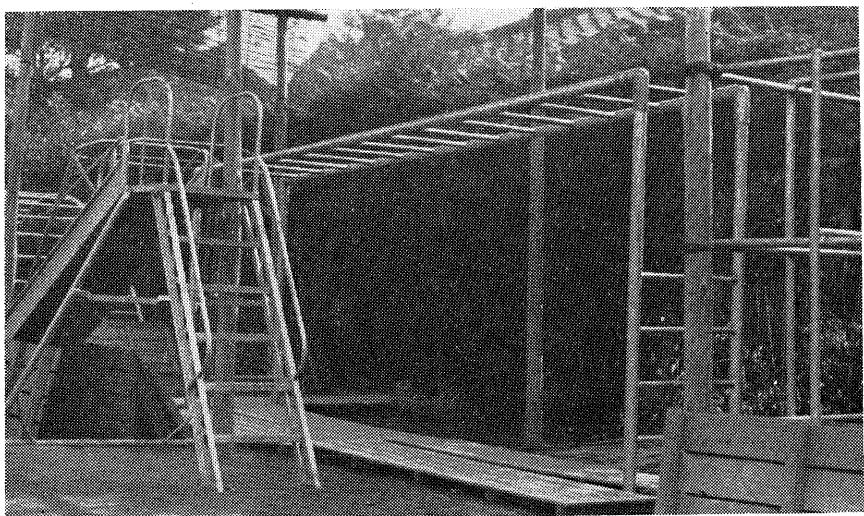
太鼓橋を平らにしたもので、したがって、その教育的意義も大体太鼓橋に同じ。しかし、太鼓橋より、懸垂して遊ぶことが多いので、特に懸垂力の発達を助長させるによい。

第45図 水平雲梯 全く水平



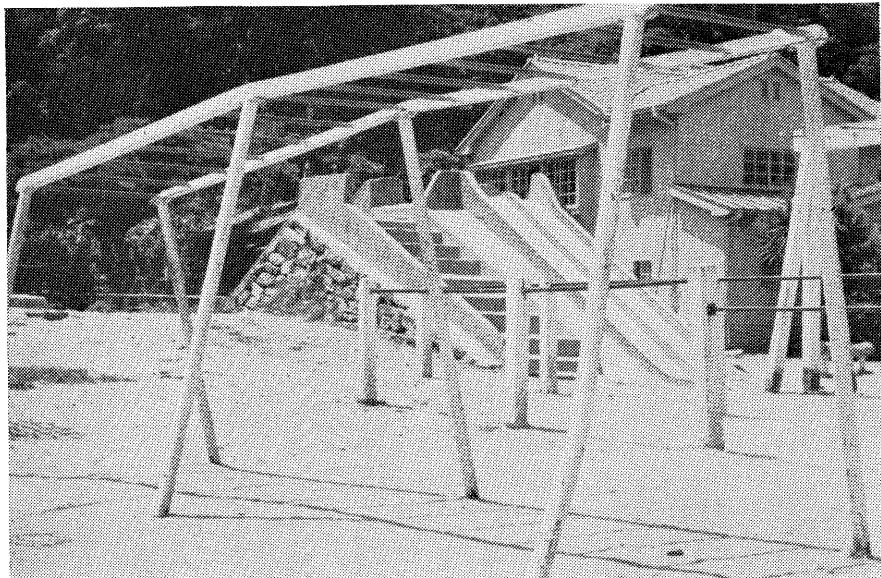
日本女子大学付属豊明幼稚園

第46図 水平雲梯 少し傾斜がかっている



練馬区 みのり幼稚園

第47図 山形雲梯



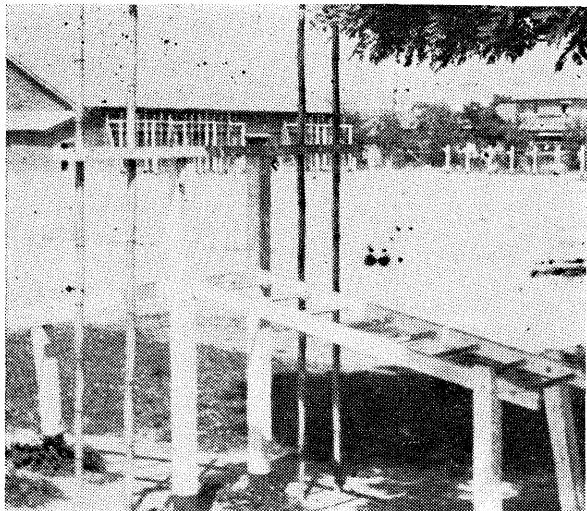
徳島市 新町幼稚園

第48図 すべり台付雲梯



すべり台付雲梯は、すべり台の下側を利用した雲梯

徳島大学学芸学部付属幼稚園



第49図 はん登棒付山形雲梯  
(木製)

徳島大学学芸学部付属幼稚園

はん登棒およびつり縄付水平雲梯は、両側に、はん登棒およびつり縄の取付け装置がある。

第50図 はん登棒およびつり縄付水平雲梯



(岡本卓夫記)

杉並区 富士見ヶ丘幼稚園